



THE ROTARY CLUB OF KUSHIRO WEST 2010~2011(平成 22 年~23 年)

釧路西ロータリークラブ会報

創立 昭和 45(1970)年 6 月 8 日 承認 昭和 45(1970)年 6 月 10 日

2010~2011 RI テーマ 「地域を育み、大陸をつなぐ」

《本日のプログラム》 9 月 13 日 12:30

普通例会

会員卓話

《次回のプログラム》 9 月 27 日 12:30

普通例会

職場訪問例会

《例会日:毎週月曜日 12:30~13:30》

《例会場:釧路全日空ホテル 釧路市錦町 3-7》

会長 石川 俊二 幹事 三木 克敏

■クラブ事務所■

釧路市幸町14丁目1-1 ノースコートサンスイ2F

TEL(0154)23-6175 FAX(0154)23-6123

2010年9月13日(月) 第9回 通算1892回

【点鐘】 石川会長

【ロータリーソング斉唱】 「それでこそロータリー」 ソングリーダー:小泉和史会員

【お客様と来訪ロータリアンの紹介】

釧路北ロータリークラブ 田村憲一郎 君

【会長挨拶】 石川会長



本日皆様のお手元にガバナーズマンスリーレターVOL.3 が届いていると思いますが、その1ページにニュースとして田中作次さんが2012年~2013年度のRI会長に指名委員会で選出された。という記事が載っております。対抗候補者が居ない場合、10月1日には会長ノミネーとなる予定です。日本からは1957年~1958年度 東京RCより選出されました東ヶ崎潔さん。1982年~1983年度 大分県中津RCより選出されました向笠広次さんに次ぐ三人目のRC会長であります。

田中作次さんは、埼玉県八潮RCに在籍されまして1975年に同クラブのチャーターメンバーとして参加され。1994年~1995年度のRI第2770地区のガバナーを歴任され、1997年~2009年までRI会長代理をされ、当第2500地区地区大会にも出席されております。2009年のバーミンガム国際大会委員会の委員長を歴任されました。家業の日用品卸業の代表を32年間続けられ、その後同業種のダイカと合併し、さらに(株)あらたと合併をし、現在は相談役の任に

就かれております。

次に、先週の月曜日に会長・幹事会が開かれ、その中で、川島ガバナー補佐より今年度のIMについて、ガバナーの言われる、小さなクラブをとの言葉を重視いたしまして、今年度のIMを白糠・音別クラブと共同で開催して欲しいとお話がありました。年度的には私どもの年度であり、単独で開催しなければならないのですが、共同での開催ではありますが、音別クラブなり・白糠クラブに先頭に立っていただき、我がクラブは縁の下の力持ち的なサポートに回りたいと考えております。この件についての返事は次回の会長幹事会にてということで、各クラブ持ち帰りました。当クラブでも理事会にて討議し、その結果を発表したいと思います。会長挨拶を終わらせていただきます。

【幹事報告】 三木幹事

- ・近隣クラブより会報等が届いています。
- ・財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センターより機関紙が届いています。
- ・ガバナー事務所より「佐古亮尊(RI 第2740 地区パストガバナー)スピーチ集」が届いています。

【委員会報告】

○広報委員会

八村委員長

ロータリーの友9月号掲載記事の紹介

○新世代委員長

坂口委員長

10月9日(土)高専第2体育館で第28回釧路西ロータリークラブ杯柔道大会が開催されます。9時から開会式となっておりますので多数の応援をお願いします。

○親睦活動委員会

小泉副委員長

[ニコニコ献金内訳]

☆入会記念

井岸会員

☆結婚記念

高木会員

【本日のプログラム】 担当 職業奉仕

●会員卓話<<坂口会員Ⅱ・真岩会員>>

<<坂口会員>>



去る6月14日の会員卓話の続きです。中学・高校時代はバスケットボールに集中しました。大学は文系の経済学部に入りました。大学時代は麻雀とアルバイトで過ごしました。アルバイトで月15万円位ありましたので、私の人生の中で一番お金が自由に使える時代でした。一番長く勤めたのは、カレーとケーキの有名な店でした。お客さんの多くは女性でしたが、商売において女性をターゲットにすることの大切さを学びました。就職は家業の電気工事店を継ぎました。結婚は、私の人生にとって一番の成功かなと思います。取引先の事務員さんを直感的に選んで結婚しました。うちの奥さんは日本一だと思います。26歳で青年会議所に

入り多くのことを学びました。

・生まれた頃のこと

昭和36年5月10日 釧路市栄町、父が電気工事会社に勤務、自宅はアパート経営

・ 小学生の頃

旭小学校(場所柄、当時の子どもの生活は多様であり、またアパートの住人も非常にユニークであった)

・ 小学校5年生の時に鳥取小学校に転校

5年生の時にいじめを経験(後の人生に大きな影響を与える)

・ 鳥取中学校入学

バスケットボール部入部(凄まじいハードな練習、これもその後の人生に多大な影響)

高校の選択(バスケットボール優先)

・ 高校進学

2年生進級時の科目選択、大学の選択

・ バスケットボール部生活

常に勝利を目指す(結果がすべて)

・ 大学生生活

麻雀とアルバイトに明け暮れる(バイトで得たもの)

・ 就職

就職活動が面倒で実家の家業に勤める(高校、大学、就職と将来のことを深く考えず、とにかく安易な道を選択)

・ 結婚

取引先の旅行時に直感で決めた

・ 子どものこと

父親の役割(絶対的な存在)であること

・ 仕事に関して

青年会議所の影響、先輩達から学んだこと(質問できること、できないこと)

基本的には「働かざる者食うべからず」

目標を持たない

・ 全般

趣味がない、小説は1冊も読んだことがない

映画、ドラマ、大人の漫画は好き「最後は正義が勝つ」というテーマが大好き

マスコミとそれに踊らされる国民(政治、経済、環境)

《真岩会員》



恥ずかしながら私の生い立ちをお話させていただきます。

私は昭和37年5月3日、根室市で父勝美、母ケイ子の1男1女の長男として生まれました。根室は、さけ・ます、さんまなど漁業の街というのは皆さんご存知のことと思います。子どものころ母から聞いた話ですが、私の父親は、富山県入善町の出身で昭和30年代のはじめころから、今は廃止になりました、当時大変さかんであった母船式の北洋さけます漁の漁船員として根室の歯舞に働きに来ていた関係で、同じく歯舞に住んでおりました母と知り

合い結婚し、私が生まれたということです。父も母も8人兄弟ですが父は富山県出身ということで、母方の親

戚と付き合いが多いわけですが、母は8人兄弟の上から5番目で、私が生まれるまで母方の兄弟には女の子ばかり9人生まれており、本当に男が生まれたのかと親戚中が集まり、おしめをめくり私の股間を覗き込んだということでした。

私には母方のいとこが17人おりますが、その後男の子が3人生まれまして現在男女比率は3対7となっております。記憶にはありませんが、待望の男の子ということで大事に育てられ、あまり体の丈夫な子ではなかったようです。

昭和42年、根室カトリック幼稚園に入園。

当時の園長先生はイタリア人で、何か悪さをすると園児の耳を引っ張り地下のウサギ小屋へ閉じ込めるというお仕置きの方法でしたが、理由はまったく覚えておりませんがよくウサギ小屋へ入れられ、その度に、このウサギたちは園長先生に耳を引っ張られたから耳が伸びた。自分もいつかこんな耳になってしまうと真剣に思うような子どもでした。

昭和44年、根室市立成央小学区に入学。

小学生の私は学校から帰ると、ビー玉、めんこ、草野球と当時ごくごくどこにでもいる普通の田舎の子どもでした。

昭和50年、根室市立光洋中学校に入学。

中学1年の冬、父は仕事での無理がたたわり、病に倒れ満40歳で亡くなりました。母も妹も泣いておりましたが、13歳ながらに自分がしっかりしないと。と考えたのか、なぜか涙は出ませんでした。というより、父が乗っていた母船式さけます船団は一度漁に出ると数ヶ月戻ってこないもので、一年のうち、家に居るのは切り上げの時だけで、元々母に育てられていたようなものだったため、特にいつもそばに居た人が死んでしまったという感情がわからず、ピンときていなかったというのが本音だったような気がします。片親になってもぐれて悪の道に走ることもなく、まじめに中学生を送り、昭和53年、根室高等学校に入学しました。特にスポーツに打ち込むわけでもなく、かといって勉学にはげむでもなかった高校時代だった気がします。じゃあ何をやってたのかを考えてみますと、小学校時代から工作などが好きで、プラモデルやラジコン、無線機やラジオを自作したり、アマチュア無線をやったりと今であれば秋葉系と呼ばれる人種だったかもしれません。

高校3年になり、いつまでも進路を決めかねておりましたが、そんなことが好きだった私はあるとき、これからはコンピュータの時代が来るからそっち方面の技術を学べば間違いないと考えましたが、受験勉強もしておらず、道内の工学部でシステム工学があり、かつ自分の成績では入れる学校を探し、昭和56年、北海道工業大学に入学しました。大学ではシステムエンジニアを目指し、アルバイトと勉学にはげむ勤勉学生でした。あっという間に4年生になり、就職活動を始めましたが、現代の就職氷河期とは違い、時代は売り手市場でした。特に本州方面からの求人が多く2つ3つの内定は当たり前で、私も7月には人並みに数社から内定をもらっていました。田舎の母のことが気になりましたが地元には就職口は少なく、進学して根室を出るとほとんどが帰ってきません。というより帰れないのが現実で、今も変わっておりません。そんな中、根室信金、現在の大地みらい信金からの求人があり会社説明会へ行ってみると、当時は文系・理系は関係なく、やる気のある人を採用していました。また、コンピュータ室もあります。との説明でした。当時の人事担当の説明が良かったこともあり、色々迷いましたが母親とも相談し、縁あって昭和60年4月、根室信用金庫へ入庫し、現在も勤めさせていただいております。

入庫後最初の赴任地は実家から通える本店でしたので、進学のため3つ違いの妹もすでに根室を離れており1人で暮らしていた母親は大変喜んでいました。それから4年が過ぎたころ母親が体調の不良を訴え病に倒れましたが、独身の私では看病もできず札幌で勤めたばかりの妹が仕事をやめて根室に戻り、母の身の回りの世話をしてくれました。平成3年の結婚後は妻と妹で自宅療養していた母の世話を続けましたが、平成4年、3年

間の看病の甲斐もなく他界しました。親との縁は短かったようです。現在私は 48 歳ですが、父と母の生きた年齢を考えると大変短く、改めて健康の大切さを感じます。職場で毎年支店の方針を考えますが、「心身ともに健康を保ち」という言葉を必ずどこかに入れております。仕事でもプライベートでも、何をするにも健康がなくてはできません。まず健康でさえいればどんな頑張りも利くものと思っています。まだ子ども達が小さいので、妻に母と同じ苦勞をさせないために、そして子ども達が私と同じ悲しみを味あわないように、今後も健康一番をモットーに頑張っていきたいと思っております。大変つたない話にお付き合いいただきましてありがとうございました。これで私の話は終わりにしますが、今回のことで自分が子どものころや学生時代に好きだったものなど忘れていた記憶を思い出すことができ、また、家族のことを振り返ることができ、これからの私の人生に何か変化が付けられるような気がします。このような機会を与えていただき、ありがとうございました。

《例会運営委員会 佐久間 委員長》

9月13日 在籍数	32名	出席免除者	4名	出席義務者	27名	「編集:八村会員」
名誉会員	1名	出席者	21名	欠席者	6名	出席率 65.6%

8月30日 修正出席率 40.6%

9月6日 修正出席率 65.8%

会報委員長:	櫻田 美香	副委員長:	齋藤 静枝
委員:	加藤 精二 八村 弘英		佐藤 雅之 小泉 和史